

山桜會報

2005年 6月

第 75 号

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長 川原 俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
http://www.yamazakurakai.com/
e-mail office@yamazakurakai.com
©2005 編集責任 松本 暁子



総会・懇親会

平成17年6月26日(日) 午前10:00

会場 追手門学院小学校

振り込もう!山桜会年会費

CONTENTS

表紙・大手前中学「キッズ・アントレ・チャンプ」優勝……………	1	これであなたも話の達人(小88期寺谷一紀さん)／	
山桜会の活力を母校の教育改革支援に生かそう!(川原俊明会長)	2	平成17年新年会報告(西口重秋実行委員長)……………	10
120周年記念事業の成功を(大木令司理事長)……………	3	偕行社58期中高1期「古稀の集い」／高等学部サッカー部OB懇親会／	
山桜会17年度組織図／山桜会副会長就任挨拶／		小学校59期、中学・高校2期同窓会(二期会)／小84期同窓会／	
山桜会 月例ボーリング大会／同窓会サポートチーム……………	4	追手門学院 中・高等学部16期同期会……………	11
会員名簿管理規則の解説……………	5	会員だより(大手前中高30期河合伸明/佳奈子さん)……………	12
オーバーナイトワークに参加して(藤井寿大手前中高教諭)／		第6回校外教授とグルメの会／第7回校外教授のお知らせ／	
愛知万博に参加して(富木豪大手前中高教諭)……………	6	第6回山桜会チャリティーゴルフコンペ開催のご案内……………	13
中・高等学校(茨木)近況報告(土井邦孝校長)／		第1回山桜古典寫眞機同好會 開催報告	
小学校と幼稚園・中高・大学との連携(伊勢田善昭校長)……………	7	(小83期大中高26期香山恭慶さん)……………	14
紫綬褒章受賞(中高9期三田和代さん)……………	8	教育支援委員会活動報告(岡本敬子副委員長)／	
紫綬褒章受賞(小68中高11期生田陽三さん)……………	9	女性部会報告(鷺見文子副委員長)……………	15
		山桜会総会・演奏会・懇親会のご案内……………	16



山桜会の活力を母校の 教育改革支援に生かそう!

～山桜会創立90周年～

学院創立120周年記念事業を成功させよう～

会長 川原 俊明

はじめに

満開の桜が、日本全国に広がっています。

追手門学院では、咲き誇った桜のもとで、順次、小・中・高の入学式が挙行されました。

入学式の各式場には、昨年度、山桜会から謹呈させていただいた「入学おめでとう」の横断幕が掲げられていました。新入生や御父兄が、この横断幕をバックに記念写真を撮られる光景が見受けられ、うれしく思いました。

少子化が叫ばれる中、定員を上回る新入生を確保している追手門学院小・中・高の健闘ぶりが目立ちます。

私たち山桜会は、卒業生同士の親睦活動を重視しながらも、母校・追手門学院に対する教育改革支援という大きな目標を掲げ、それに向かって積極的に活動を進めてまいりました。

山桜会の教育改革支援活動が、少しでも先生方、生徒の心意気に影響を与えることができれば、これほど嬉しいものはありません。

学院創立120周年を前にして、追手門学院の伝統を維持し、母校のさらなる隆盛のために、卒業生としてなすべきことは何か。

この観点から、私達は、山桜会を運営し、さらには学校法人の理事会や評議員会においても、卒業生としての立場から、よりよき母校の建設のため、改善策を主張し続けています。

山桜会活動の強化対策・委員会再編

山桜会の掲げる教育改革支援策を具体化するのが、委員会活動です。

評議員のみなさまには、全員、いずれかの委員会に所属していただくようお願いした経緯もあり、この一年間、私達も頭が下がるくらい、実に活発な委員会活動が行われ、数々の成果を上げてきました。

オール追手門を地でいく数百人規模の山桜会新年会、参加者100名を超える山桜会チャリティゴルフコンペ、多くの一般会員を巻き込んだ女性部会主催の講演会、各学校PTAとともに参加するスポーツ大会や連合後援会への支援など、各委員会で練り上げた活動成果が見事に花を開かれています。

2期2年目の今年、私たちは、さらに意欲を出すことにしました。

各委員会の活動成果を、委員会だけのものに終わらせず、山桜会全体に浸透させたい。その手段として、委員会再編を実行することにしました。

従来からの委員会の殻を、一旦は破壊したうえで、もう一度再編することにより、委員会同士の連携をより緊密にしたい、と考えたのです。

失敗してもいい。間違っていたら、やり直せばいい。

私たちは、こんな気持ちで、思い切った委員会組織の再編に取り組むことにしました。

委員長会議を復活させる。ジュニア部会を委員会に昇格させ、本格的な次世代山桜会執行部を育てていく。母校に対する教育支援活動と渉外活動を一体化して、母校との連携を強化する。文化活動にも力を注いで、多くの会員のみなさんが参加しやすい体制を築く。

これらの大事業を、山桜会会員の皆さんと力を合わせて実現し、その成果を会員の皆さんとともに享受する。この目的達成のため、山桜会の委員会組織に大改革のメスを入れたのです。会員のみなさまには、ぜひともご理解とご支援をお願いしたいと思います。

委員会再編に伴い、新たに藤村敬(小79期)副会長を選任し、執行部の強化も図りました。

来年は、山桜会創立90年

今まで、山桜会は、自らの過去を振り返ることなく、常に前進あるのみ、とばかり邁進してまいりました。しかしながら、今の山桜会は、先輩たちの活動の蓄積があったからこそ、将来に向けて前進できるのです。

気がつけば、来年の2006年は、山桜会創立90周年にあたります。

私の恩師であり、山桜会の生き字引とも言われる酒井良之助先生によれば、追手門学院の前身・大阪偕行社附属小学校に赴任された片桐武一郎校長先生が、学校の教育改革とともに、同窓会組織の結成に大変尽力されたようです。

片桐校長赴任後の卒業生をもって組織された「桜会」結成の大正5年(1916年)1月30日をもって山桜会創設の時とされています。

この「山桜会報」の題字も、片桐校長の筆にかかるものです。

私達は、山桜会の伝統を引き継ぎ、さらに改革を加えて、歴史を刻んでいきたいと思っています。

秋山陽彦(小59・中2)副会長が、山桜会90周年記念事業実行委員長となり、来年の山桜会行事は、すべて「90周年記念」の冠をつけて実施します。また、山桜会として初めて実施する周年事業として、全学あげでの記念パーティを大々的に実施する予定です。みなさまもぜひご参加下さい。

学院創立120周年記念事業にご協力を

山桜会は、母校と共に歩みます。山桜会の90周年記念事業は、2008年に迎える学院創立120周年記念事業の、いわばプレ記念事業とも言えます。

山桜会の財産は、総数3万人におよぶ卒業生が、日本国内はもちろんのこと、世界各地で活躍されているところにあります。いわば人材の宝庫です。

いま、母校・追手門学院は、創立120周年記念事業の一環として、教育改革の推進とともに、全学的な校舎の建て替えを進めています。

いわば、ソフト・ハード両面からの改革を始めているのです。

すでに象徴的なことは、茨木・追手門学院中高が、土井校長のもとで先生方が一丸となって教育活動に力を注がれた結果、今年も、大阪府下でトップの入試倍率を誇ったことです。伝統に安住することなく、たえず自らを高めていく母校の姿勢が評価されています。

卒業生として、母校・追手門学院の繁栄に、ぜひともみなさまのご協力をお願いする次第です。



120周年記念事業の成功を

～追手門学院のさらなる飛躍に向けて

ご理解、ご協力をお願いいたします～

理事長 大木 令 司

山桜会の会員の皆様方の日頃の追手門学院へのご尽力に深く感謝いたします。

さて、2005年という新しい年度を迎え、120周年記念事業をはじめ追手門学院の現状及び今後の方向について簡単にご報告いたします。

2001年4月に幼稚園の先生方に退職をお願いし、新たな待遇の基で再雇用を行い、加えて新たに幼稚園教育に必要な先生方も採用することとなりました。これは長くお勤めの先生方の勇気ある選択があっはじめて可能となりました。その後、財政が急速に回復し、既にご存知のように昨年9月に新園舎の竣工が可能となりました。新園舎の建設は120周年記念事業の口火を切る重要な事業でしたが、関係者のご協力を獲得して新たな歴史の出発点となりました。

茨木中・高の改革が開始されて5年が経過し、昨年は高校入学定員276名のところ、426名の生徒の入学があり、今年度は再び391名の大量入学となっております。中学、高校で定員割れが起り、「中・高改革検討委員会」を立ち上げて、教育改革の内容について論議を繰り返したことが思い起こされますが、先生方が給与を下げてまなお学校を維持継続・発展させたいという思いがこのような結果を生んだことと有り難く思っております。ともあれ、茨木キャンパスの桜並木の間の坂道を登る子ども達の姿が澆刺としたものに見えてきました。進学結果が毎年良くなり、その実績が週刊誌等でも紹介されることとなりました。

大手前中・高は個性化と高い学力を2本柱として、昨春改革実施4年目を迎えるに至りましたが、入学者確保に不安が見え出したこともあり、骨格は従来のままとしても、進学強化に明確にシフトすることで、その結果を待つこととなりました。幸い1年間の軌道修正で、落ち込んでいた内部進学が改善されたことも相俟って、3年後に数値目標とし、その成果を期待していた中学入学者数160名以上を確保することができました。生徒確保に実績が積み重ねられた上で校舎建設を考慮したいところでしたが、現状の施設設備が余りに老朽化しているために、先行して校舎の建て替えを進めることとしました。しかしながら、このための資金が潤沢とは言えないため、先生方にはさらなる給与減をお願いせざるを得なくなりました。予定では、今年度前半で設計内容が確定し、その後工事に入ることとなります。

加えて、新校舎には、120周年記念事業の一環としてつくられる学院施設も予定されております。

小学校は学院の歴史の発祥の地です。2008年に学院120周年を迎えますが、この120周年を迎えるのは他ならぬ小学校です。小学校の募集状況はこれまで極めて順調であると言えます。これは歴史の力であり、小学校の先生方の長年にわたる研鑽の結果であると理解します。しかし、関西の大手私大が小学校開設の予定を明らかにしております。これは小学校の歴史が新しい環境に置かれようとしていることに他なりません。小学校の募集は順調ですが、財務状況は必ずしも万全ではないので、それなりの方法による経営への協力を現場にお願いしてきました。優れた施設設備を維持改善するためにはそれが必要であり、教職員の将来、卒業生の将来、関係者の将来を明るくするための選択である旨をお伝えしてきております。

幼小中高の教育が安定化の方向をたどれば、問題は大学となります。大学の志願者は毎年減少しており、ある学部学科では実質的に受験すれば合格となる状況に近づいてきているとのことです。この状況を乗り越えるために、学部学科の改組をはじめとする施策や、施設設備のリニューアルなどを実施していただいております。

大学の「全入時代」はまさしく目の前となっております。私は学院が輝くためには大学が輝かなければならないと繰り返し申ししてきました。既にいずれの大学でも、改革に全力が傾注されており、とりわけキャリア開発や学生支援に力が注がれております。こうした情勢においては、他の大学を凌駕するような大胆かつ急速な改革なくして生き残りはないことを、今度は大学の先生方が認識していただいて、より一層強力に大学の改革を推進し、そして学院改革の中心に登場していただくことを期待したいと思う次第です。

理事長職に就いて3年以上が経過しましたが、後藤学院長・学長の学内でのリーダーシップもあり、この間学院改革は多少の紆余曲折はあっても順調に推移いたしました。今後は、120周年記念事業を里程碑として、さらに学院改革を推進することが必要であると考えております。引き続き、学院改革、120周年記念事業の成功に向けて邁進いたす所存ですので、関係各位のご理解ご協力を心よりお願いいたします次第です。

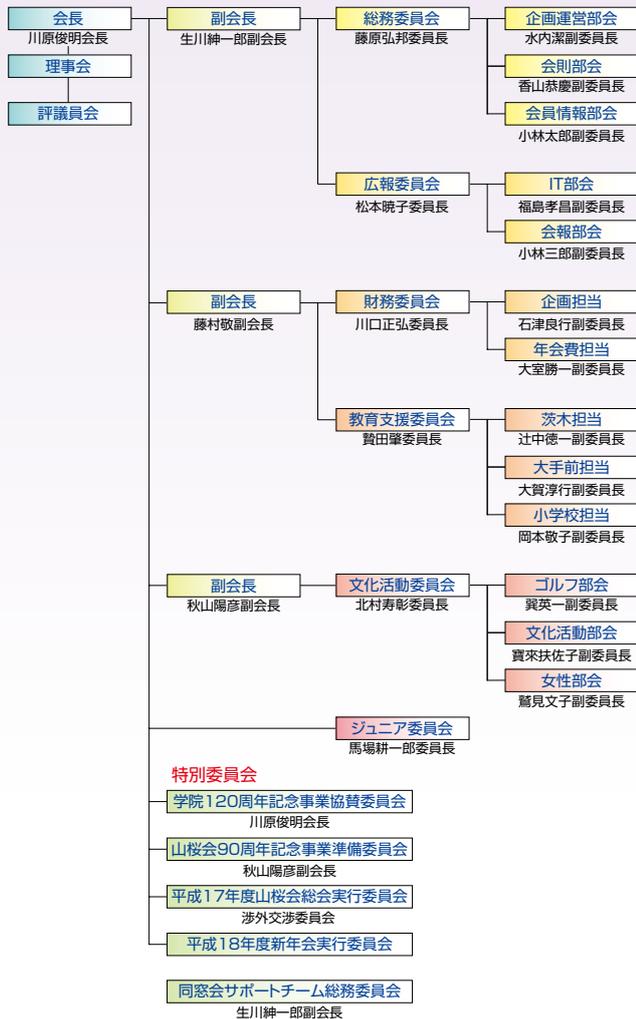
創立120周年記念事業事務局からのお願い

学校法人追手門学院創立120周年記念事業事務局では、母校の飛躍に向けた記念事業を計画しております。記念事務局は、この事業を成功させるため、校友会山桜会のご協力のもとに、広く卒業生の皆さんを対象とした募金活動を行わせていただくことになりました。皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。記念事務局は、卒業生名簿をもとに、募金名簿データを作成させていただきますが、これらの利用目的は、120周年総合募金の趣意書など募金要項等の送付・提供をさせていただくものです。

*なお、山桜会が、学院に提供する項目のうち、「会員名簿管理規則」第4条1項記載のなかで提供を希望しない項目がある会員は、平成17年6月21日までに文書(FAX・メール可)で山桜会事務局までお申し出下さい。

山桜会17年度組織図

2005.04.20



同窓会サポートチーム:同窓会の開催で、山桜会に協力の要請があればサポートするためその都度設置

山桜会副会長就任挨拶

小79 藤村 敬



この度、歴史と伝統のある追手門学院校友会山桜会の副会長を拝命することになり、その責任の重大さをひしひしと感じるとともに、我が母校追手門学院に対する熱き思いを持って川原会長の下、山桜会そして追手門学院の発展に少し

でも寄与できますように微力ながらも全力を傾注する所存でございます。

さて同窓会組織であります山桜会の大きな目的、機能の一つは、前期より川原会長が掲げられています母校追手門学院の活動、発展を後方から支援することです。同窓会組織でしか持ち得ない母校への熱き思いそして多様な人材、情報、ノウハウを駆使して、更なる学校への支援そして発展できるように取り組んでいきたいと考えております。そして多くの社会有為な人材を我が母校より輩出することが、山桜会の財産として山桜会会員の心の支えになるものと考えております。

もう一つの大きな目的は、同じ学舎で学び、遊び、学生時代を過ごしたという同窓意識のもとでの暖かく、やさしさのある人間関係を経験することにより、人生をより充実した豊かなものにするのではないかと考えております。山桜会会員の皆様が、気軽に参加できるような企画、イベントを実施するとともに、多くの会員の皆様が山桜会の活動に参加できるような楽しい雰囲気を作り上げていきたいと考えております。

“すそ野の広いしっかりと山桜会組織を形成し、そしてそれを基盤として母校への支援を行なう”この目的を達成できる様に、山桜会会員の皆様のご指導を仰ぎ、またご支援を賜りながら全力で取り組んでいきたいと考えております。会員の皆様のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

毎月集います!

山桜会月例 ボーリング大会

今までは、総会・懇親会、新年会と山桜会として集うことは、年に2回しかありませんでした。

一度、タイミングを逃すと半年先まで会えない。ちょっと寂しすぎませんか。今年度より毎月会員の皆様にお集まり頂く企画を考案しました。会員相互の親睦を深めるとともに、昔話 情報交換の場にお役立て下さい。また、運動不足の方、趣味をお探しの方、新しい友達を見つきたい方、どんどんお集まり下さい。

毎月、大阪府下のボーリング場で開催されます。詳しくは、ホームページまたは、事務局までお問合せ下さい。 ジュニア委員会

Support Team 同窓会サポートチーム

山桜会では、会員のみなさまが同窓会を開きやすいようにサポートチームをつくりました。名簿の提供、作業場所の提供、備品の貸し出し、宛名書きのサービスなどができます。また、過去の同窓会でいろいろな工夫を幹事さんがされていたはずですが、そういった情報を集めて他の幹事さんの参考になるようにしたいと思っています。同窓会をされた幹事さんのご協力をお願いいたします。これから同窓会をしたいのだけれど、どうしたらいいのかわからないという幹事さん、山桜会がお手伝いをしますので、お知らせください。

同窓会サポートチーム専用メールアドレス
dousoukai@yamazakurakai.com

会員名簿管理規則の解説

会員名簿は山桜会の活動の基盤となり、その詳細であり正確であることが要請されます。しかし他方、今日個人情報保護法が施行され、個人情報の保護が重要な課題となってきております。そこでいかに個人情報を管理するかが問題となっております。本会員名簿管理規則はかかる両方向からの要請に基づき作られたものです。

本規則は、会員の個人情報保護のため公開される個人情報の範囲を限定して、情報提供者である会員の利益を守りつつ、山桜会の活動に必要な情報を確保するという意図をもって名簿作成を行い、同時に名簿の情報収集方法および使用に制約を設けると共に管理運営を厳格に行うことによって、個人情報がみだりに外部に遺漏されないように万全の対策を執っております。 今後は本規則に準拠して名簿の管理運営が行われることが必要であると同時に、会員の皆様各自が会員名簿の趣旨に対する認識を深めていただき、情報提供にご協力を頂くことが会員名簿の充実のために必要なことと思います。

会員名簿管理規則

第1条【総則】

本規則は、追手門学院校友会山桜会(以下「本会」と称する)会則第21条第1号に定める本会が管理する名簿(以下「名簿」と称する)に関して定める。

2. 名簿は、本会会員(以下「会員」と称する)共有の財産であり、崇高な精神のもとに信義かつ誠実に、これを取り扱うものとする。
3. 総務委員会会員情報部会は、本会会長(以下「会長」と称する)の命を受け、会員情報の収集・管理・提供を行う。

第2条【名簿の種類】

名簿とは、会員の個人情報を記載したものである。

- ① 名簿には、原簿と公開名簿をおく。
原簿とは、本会が会員の状況把握のために必要とする情報をすべて記載したものである。
公開名簿とは、原簿を元に一部の項目を選択編集したものである。
- ② 公開名簿には、普通名簿と部分名簿をおく。
普通名簿とは、公開名簿の内容を複製し、会員に提供するものである。
部分名簿とは、公開名簿の内容を特定条件で抽出し、会員に提供するものである。

第3条【原簿】

原簿には、次の項目を記載する。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 氏名(変更後の氏名を含む) | ⑥ 生年月日(平成15年度より) |
| ② 住所(郵便番号)および電話番号 | ⑦ 勤務先および電話番号 |
| ③ 卒業学校名 | ⑧ 電子メールアドレス |
| ④ 卒業年度、組、卒業担当教員名 | ⑨ 理事会が必要と認めた事項 |
| ⑤ 性別 | |

2. 原簿は、会長が管理する。
3. 総務委員会会員情報部会は、第1項の記載項目が遺漏なく原簿に記載されるように努めなければならない。
4. 原簿の閲覧・写しの交付は、会長の承認を得て、本会理事・監事および総務委員会会員情報部会に対してのみ行う。
5. 前項により情報の提供を受けた者は、その情報を第三者に提供してはならない。
6. 原簿の記載事項の変更は、総務委員会会員情報部会が速やかに行わなければならない。
① 総務委員会会員情報部会は、情報修正の連絡を受けたときは、修正申立人の氏名等を確認し、真否を確認の上修正を行わなければならない。
② 会員の死亡に伴う情報の修正は、身内親族への問い合わせ等特に慎重

に行わなければならない。

7. 会長及び総務委員会会員情報部会は、1年に1回原簿の管理状況を確認しなければならない。
8. 総務委員会会員情報部会は、原簿作成過程で収集したいかなる情報も第三者に提供してはならない。
9. 原簿の管理に関する費用は、下記のものとし、本会より支出する。
① 調査・連絡のための費用 ② 管理用機材(コンピューター)に関する費用
③ 記録媒体の費用

第4条【公開名簿】

公開名簿には、次の項目を記載する。

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 氏名(変更後の氏名を含む) | ④ 卒業年度、組 |
| ② 住所(郵便番号)および電話番号 | ⑤ 勤務先および電話番号 |
| ③ 卒業学校名 | ⑥ 電子メールアドレス |

2. 公開名簿の閲覧・配布は、会員に対してのみ行う。
3. 情報の非公開を希望する会員は、総務委員会会員情報部会に文書で告知することにより、第1項の項目の一部または全部を会長の承認を得て公開名簿に記載しないことができる。
4. 総務委員会会員情報部会は、会員の死亡を確認した場合、第1項①のみを記載し、その旨を補記する。
5. 総務委員会会員情報部会は、会員の所在を確認できない場合、その旨を補記する。

第5条【普通名簿】

普通名簿の作成・配布は理事会において決定する。

2. 会員は、費用の応分負担により、普通名簿の配布を受けることができる。
3. 会員の負担する下記費用は、理事会において決定する。
① 編集に関する費用 ② 用紙やCD-R等の媒体および製版や製丁に関する費用 ③ 送料等

第6条【部分名簿】

部分名簿の作成・配布は、同窓会の開催など目的が明確な場合に限り、会員からの書面による請求に基づき行う。

2. 会員は、記載内容を指定することができる。
3. 会員の負担する下記費用は、理事会において決定する。
① 編集に関する費用 ② 通信費等

第7条【制限】

会員は、名簿によって得た情報を、会員以外の者に漏洩してはならない。

2. 会員は、名簿によって得た情報を、本会の目的に反する用途で使用してはならない。
3. 会員は、名簿によって得た情報を複製する場合は、あらかじめ会員情報管理委員会の承認を必要とする。
ただし、複製が個人的用途である場合(個人用の住所録への転記など)は、この限りではない。
4. 会員が、本条に違反した場合は、本会は会員のプライバシーの保護のため、法的手段をもって対処する。
5. 会員が、本条に違反し、第三者に損害が生じた場合でも、本会はその責めを負わない。

第8条【会員の情報提供】

会員は、原簿記載事項に変更が生じた場合、速やかに総務委員会会員情報部会に報告しなければならない。

第9条【著作権】

名簿に関する著作権は、本会に帰属する。

第10条【その他】

本規則の改廃は、理事会において決定する。

- 附 則
1. 本規則は、平成16年12月3日理事会にて承認
 2. 本規則は、平成17年1月1日から施行する。

大手前 中・高等学校

オーバーナイトウォーク に参加して

大手前 中・高等学校 教諭 藤井 寿



本校の伝統的な学校行事の一つにオーバーナイトウォークというものがあります。夜を通して歩く行事なのでオーバーナイトウォークとか夜行軍というように呼ばれています。その目的は①未知の体験をすることで体力・精神力を養い、校内では学べない知識や態度を学ばせる。②自主的に行動できる人間育成の場として、協力する心や助け合う心を育む。③学年を越えて親睦を深め、規律ある集団行動により社会生活の中でのルール・マナーを身につけさせる。④ボランティア活動を通して、公共心・公德心を育てるの4つです。今年も3月19日(土)の夕方から翌日朝にかけて神戸のモザイク広場から学校までのコース(約42km)で実施しました。中1から高2まで生徒94名、保護者5名、教員

32名の総勢131名がこの行事に参加しました。午後6時半、モザイク広場に集合し、そこで全員でゴミ拾いをしてからスタートしました。スタート時の生徒達は、未知の体験に挑戦する高揚感と不安感が入りまじったいい表情をしていました。私は先頭を歩いていたのですが、最初の10km程は、歌声や話し声が後ろの方から聞こえてくるくらい全員元気に歩いていました。しかし10kmを越えたあたり、時間にして11時過ぎくらいから話し声も聞えなくなり、生徒達はただもくもくとひたすら歩くことだけに集中する様になってきました。赤信号で止まった時も、地べたに座りこんでしまう生徒がだんだんと多くなっていました。やっとのことで20km地点のロイヤルホストにたどり着き、そこで温かいスープと軽い夜食をとりました。その時点ですでに2時をまわっていました。生徒達も今まではりつめていた緊張感・集中力が一気にきれてしまった様で、どのテーブルを見ても全員顔を伏せて寝ていました。それでも気を奮いたたせ出発しましたが、淀川大橋を越えるあたりでは生徒達も教員も歩きながら寝ている様な状態で、気力のみで歩いていました。そしてやっとのことで天満橋駅までたどり着くと、もうあと少しだということ生徒達の顔にも元気が戻ってきました。最後の力をふりしぼって学校に到着すると、そこには保護者の皆様方や先生方が温かく迎えてくれましたので今までの疲れも一気に吹き飛びました。食堂で温かい豚汁とおにぎりを食べている生徒達の表情には、疲れきってはいましたが42kmを歩きぬいたという達成感で満ち溢れていました。その表情から、生徒達がこの行事をとおして大きく成長し、この体験が生徒達の自信となったことを私は確信しました。最後に、このオーバーナイトウォークを支えてくれた保護者の皆様方や先生方のご協力に感謝申し上げます。

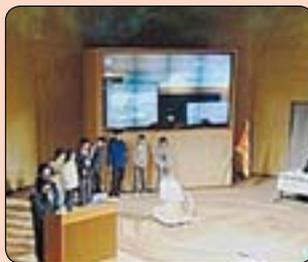
57期 中学2年 ベンチャーコース

愛知万博に参加し

大手前 中・高等学校 教諭 富来 豪

去る2005年1月7日～9日に北海道小樽市で開催された、『キッズ・アントレ・チャンプ』(北海道小樽市・日本経団連などの主催・後援)で見事優勝したグループの一員として、本校中学2年橋本豊・日賀井里沙が、3月25日から開幕した『愛・地球博』(自然の叡智をテーマ)に参加してきました。3月26日、瀬戸会場の市民パビリオンにて作品(中学生は自然にやさしく、使える運ぶものというテーマ)を展示し、一般の人たちに作品を評価してもらい、その後奨学金の贈呈式が行われました。贈呈式は、奨学金を出していただけるオーナー様からの質問に子どもたちが答えるというもので、緊張した様子もありましたが、スムーズに会話することができたのではないかと思います。こういった機会をきっかけに、今後も起業家プログラムに積極的に取り組んで欲しいものです。

そして2006年3月に第2回目の全国大会が横浜で開催されます。この大会でも優勝できるよう、またがんばっていききたいと思います。



中・高等学校(茨木)近況報告

中・高等学校 校長 土井 邦孝



平成17年度の入学式は、校庭の桜が見事に咲き揃うという彩り豊かな演出が加わり、厳粛の中にも華やかに執り行なわれました。大木理事長、後藤学院長、川原山桜会会長などご来賓の皆さま方はもちろん、多数の保護者の皆さま方、特におじいさま、おばあさまのご参列を賜り、お祝いに花を添えていただきましたこと、大変嬉しく感謝申し上げます。

式後には、校庭のあちこちで、美しい桜花を背景に、お子さまの晴れ姿を写真に収められていた光景を微笑ましく拝見いたしました。新聞報道にも見られたように、中高とも厳しい入学試験となり、その入試を勝ち抜いて来られた新入生諸君は、中学校39期生62名、高等学校56期生391名を数え、大きな飛翔への期待が高まります。

翌9日には始業式・対面式を行ない、在校生の一回り大きくなった元気な姿に接することができました。私の方からは、高校3年生の進学目標として、国立50名、関関同立200名以上の合格を目指すことと、また、特に「教育の原点・教師の原点」に戻って、今年度の教育活動を積極的に展開したいという主旨の話をいたしました。その後、生徒たちは、新任の先生の紹介や担任の発表に沸き返りましたが、一方で、この1年間の学習生活に想いを馳せて、胸の高まりを覚えたことでしょう。

中高自治会主催の対面式では、新入生は幾分緊張気味でしたが、壇上上がったのクラス挨拶、自治会役員からの歓迎の言葉、クラブ紹介、学院歌の練習と進むにつれて、次第に和やかな雰囲気になり、笑顔が見られるようになりました。私は対面式に参加する度に、在校生の配慮あるもてなしの心に、伝統行事のありがたさを感じます。

今日10日は、新入生には学習オリエンテーションや諸施設の案内が行なわれています。校長室にいても、彼ら、彼女らの元気溢れるやりとりが廊下やグラウンドから聞こえ、明るく、楽しそうな様子が伝わってきています。

本校の教育改革も導入期から発展期に移行しつつある現在、昨年度末の職員会議で総括をして、成果として確認できることと、課題として残っていることに大別いたしました。基本的には、これまでの取り組みを厳しく点検・精査して、新たな企画を積極的に採り入れることにしています。生徒一人一人から主体的な学習姿勢を引き出し、将来設計に自信と活力を与えることができる教育活動に邁進する所存です。今年度もよろしく願い申し上げます。

小学校と幼稚園・ 中高・大学との連携

小学校 校長 伊勢田 善昭

4月9日快晴のもと満開の桜に迎えられ122期生の入学式が挙行され、157名が元気に入学しました。

さて120周年を3年後に控え、学院として各学校間の連携を強めることは大切なことと考えられます。小学校として昨年行った他校との様々な連携を報告いたします。

まず、小学校の先生方が幼稚園の保育の参観を行い、そのきめの細かい配慮や、年長児のしっかりした様子などに触れることにより、小学校の低学年の教育に役立て、更に小学校入試の問題作りにも参考にいたしました。また、運動会・卒園式・入園式などの大きな行事に校長が教頭が出席するようにしました。

大手前中高とは、久しぶりに教員同士の親睦ソフトボールの試合を実施しました。以前は、茨木中高を含め毎年3校の対抗戦を行っていたのですが、なくなってから20年近くなり、お互いの教員の交流も少なくなり何とかしなくてはと、担当者が日程の調整を行い実施にこぎつけました。試合の結果は、小学校が残念ながら負けましたので今年はリベンジを計ります。昨年より、中高の先生に小学校の体育の授業を担当してもらうことになり、今年はそれに加えて家庭での授業もお願いすることになりました。中高の先生方に小学校の教育



に携わっていただくことにより、新しい連携が生まれていくことを期待しています。また、小学校と中高のバスケクラブが合同練習を夏休みに行いました。お兄さんやお姉さんに教えてもらうことにより、技術の向上と共に心の交流が図れました。そして、小学校の文化祭に中高のPTAコーラスが出演していただき華をそえて頂くようになって回数を重ねてきましたが、小学校も昨年よりやっとPTAコーラスができましたので、合同の発表会などができたらいいなと思っています。

茨木中高の教育改革が成果をあげられ、その教育に対する情熱は小学校の進学説明会でも保護者に伝わり、一昨年7名・昨年5名と今まで最高の進学者数を出しています。

大学からは教育相談のカウンセラーを派遣していただいています。

これからもさらに各学校間の連携を強めると共に山桜会の皆様のご支援のもと、追手門学院の発展に力を合わせて頑張ってまいります。

三田 和代さん

中高9期



紫綬褒章受賞



紫綬褒章受賞おめでとうございます。

お稽古中で大変お忙しい中、質問事項を送り、その回答をテープに入れていただきました。

—追手門学院の学生時代の思い出は。

中学高校と6年間追手門に通いました。この6年間で私の人生の中で一番おだやかな時代でした。とりたててドラマティックな思い出はないですね。おとなしい生徒でした。

—演劇部での思い出は。

中学は佐藤良和先生、高校は中川貴先生指導のもとにクラブ活動していました。お二方とも大変熱心な先生でしたので、先生の力にひばられて稽古し、自主的ではなかったです。1年先輩に女性部員が多く、その方たちとワイワイやってるのが楽しかったですね。

—何故女優になろうと思われたのか。

大変演劇の好きな姉(高2期多喜晴代さん、山桜会理事)がおりまして、中学の時にもう姉は関西学院大学の劇研究会に入って活動していました。13,4歳の頃より一緒に新劇を見ておりましたし、借り出されて子役として劇研の芝居にも出ておりましたし、舞台演劇からそう遠くない所にいました。演劇に親しませてくれた姉がいなかったら女優にはなっていなかったと思います。

—女優になられたきっかけは。

姉と同じ関西学院大学に私も進み、劇研に入ったのですが、安保闘争の後で社会運動的な演劇部になってまして、あまりおもしろくありませんでした。ある時、雑誌の俳優座付属俳優養成所の募集要項が目にとまり、

ここに行けばお芝居の好きな人がいるかもしれないと思い試験を受けました。合格していなかったら、あきらめてしまっていたと思います。

—思い出に残る作品は。それは何故。

平成12年の栗山民也演出ユージン・オニール作「夜への長い旅路」をあげます。57歳の時の作品で、これまでやってきたことのすべてをこの作品に集約し、もうこれ以上のことはできないというところまで力を出し尽くしました。稽古、稽古で、膨大なせりふをテンポよくしゃべるといことで、唇から血がでるくらい稽古しました。お陰さまでこれで2度目の読売演劇大賞最優秀女優賞を頂きました。涙が出るくらいうれしかったです。認められたんだと心の中に充足感が残った作品です。

—思い出に残る共演者は。

「滝沢家の内乱」で共演した民芸の大滝秀治さんです。滝沢馬琴とその息子の嫁とのスリリングな二人芝居でした。大滝さんは情熱的で夢中になる方で、本当に一生懸命なんですね。日々何かがあるかわからないんです。一緒に過ごした時間がわくわくするようなひとときでした。大好きな俳優さんです。

—今後どのような作品に出演したいか。

来るもの拒まずで、積極的に噛み砕いて食べて生きたいと思います。どんなものが歯にはさまろうとも頑張るぞという思いであります。

—どのような女優になっていきたいか。

今日という日に正直に生きたいし、今日という日を精一杯生きたいし、新しい私をまだまだ毎日発見できるような自分でありたいと思っています。

—ありがとうございました。



弁護士法人
川原総合法律事務所
Kawahara Law Office

- 弁護士 川原俊明 (小71・中高14期)
- 弁護士 中村信仁
- 弁護士 尾熊弘之
- 弁護士 稲永泰士
- 弁護士 中橋 敦
- 弁護士 杉本智則

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階
TEL : 06-6365-1065 (代表) FAX:06-6365-7265
E-mail:kawahara@e-bengo.com
http://www.e-bengo.com

私たちは、食を通じて社会に貢献します

サトレストランシステムズ 株式会社

代表取締役執行役員社長 重里 欣孝 (大高24期)

〒532-0027 大阪市淀川区御川3-7-6
Tel.06-6309-6301
www.sato-restaurant-systems.co.jp

http://www.yukita.co.jp/

YUKITA

人と情報・エネルギーの国際交流をサポートします。

行田電線株式会社

本社/大阪市城東区古市1丁目2番11号
TEL(06)6933-5811 FAX(06)6934-7335

支店/東京 海外/香港・上海・外高橋(上海)・シンガポール
海外工場/上海・滁州(安徽省)・深圳(広東省)

豊竹咲大夫さん

小68 中・高11期生田陽三さん



紫綬褒章受賞

—この度は紫綬褒章受賞おめでとうございます。お忙しい中、山桜会事務室までお運び頂きありがとうございます。少しのお時間色々話しをお伺いさせて頂きたく存じます。

—追手門の時の話しからお願います。

小学校、中学、高校と追手門に通いました。何よりも思い出に残っていることは、小学3年生の時のことです。当時四ツ橋にありました文楽座での初舞台上に、PTAが中心となり、場内には追手門学院小学部三年生とかかれた提灯をつるしていただき、そして劇場の表には追手門学院と染め抜かれた幟を立てていただき、又、総見と申しますが内藤校長先生始め皆様が見に来られまして大変感激しました。お稽古や、東京の舞台に出演する為に早退したり、欠席したりする時も、私の他にも芸能に携わっている生徒がおりましたが、理解を示していただき、便宜を図ってもらいました。クラブ活動は小学校時代では放送部。中学、高校時代は演劇部に所属しておりました。あまり活動は出来なかったのですが、演劇部で三田和代さんが部長で、顧問の佐藤先生が僕のせりふを書いて下さり、1度だけ舞台にたちました。野球が大好きで、小学校の時、校庭の南西角のバッターボックスから藤棚まで飛ぶ大ホームランを打ちましたよ。ついつい今も野球が好きですから講演会の折などには、文楽を野球に例えて義太夫はピッチャー、三味線はキャッチャー、人形方は内野手であり、外野手であると、話しをしています。

—文楽のお話しに移ってきたところで、続けて文楽のお話しをお願いします。

文楽は実力の世界でして、一代限りの芸です。歌舞伎やお能のように世襲制ではありません。師匠に弟子として入門し、実力をつけていきますが、50歳でようやく花開くという世界です。私も50歳でようやく義太夫の声になったというか、60歳になってようやく見えてくるものもありまして、行間などもそうですね。父も太夫(8代目竹本綱大夫)でした。私が24歳の時、65歳で亡くなりました。母は私が一人っ子なものですから、その当時大阪の芸能界は筆舌に尽くしがたい状態でもあり、先行きを大変心配してましたが、生前父が、まあ食べてはいけるやろ、と言うたそうです。それで今があるわけです。今回の受賞で何がうれしいというて、他にも芸術選奨などもいただけてますが、始めて父と同じ紫綬褒章を受賞したことです。それで家には2つの勲章があるわけです。

—紫綬褒章は実力に対して贈られるものですから、すばらしいですね。今後のご予定は。

8月に東京で、400年の歴史を破って初めて観世流シテ方野村四郎さんと義太夫とお能の共演を行います。

—大阪の催しは。

7月の公演は、去年世界遺産に登録されたのを契機に、大阪の方でできるだけ触れていただこうと、1部は親子劇場、2部は文楽通の方に、3部は関西財界が応援してお勤めの方にと曜日によって6時半、7時半開演のレイトショーをいたします。食わず嫌いではなく1回は見ていただきたいです。今後も追手門の皆様には応援よろしくお願います。

—本日はありがとうございました。

昔ながらの製法で丹精込めて作り上げた
老舗和田八のかまぼこ・天ぷら



新通店・尼セン店・なんばウォーク店・尼崎武庫店・高島屋大阪店・高島屋京都店・大丸梅田店・大丸神戸店・阪神百貨店・千里大丸プラザ店・その他有名百貨店等で販売しております。地方発送も承っております。詳しくはお問合わせください。



フリーダイヤル 0120-888012
http://www.wadahachi.co.jp

FORME CO., LTD.

代表取締役

島澤 俊文

(茨高25)

Toshifumi Shimazawa

株式会社フォルム

〒558-0051 大阪市住吉区東粉浜2-8-3
TEL: 06-6671-9090 FAX: 06-6671-81

ファクトリー

〒587-0012 大阪府堺市美原町多治井267
TEL: 072-362-8433 FAX: 072-362-9

歯科・矯正歯科・小児歯科
健康保険取扱い

西川歯科医院

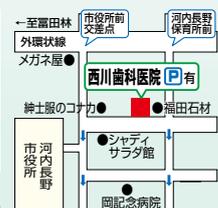
院長 西川 義公

—歯学博士—

(大中25・茨高25)

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:30 ~1:00	○	○	○	○	○	○
午後 3:00 ~8:00	○	○	○	○	○	○
午後 5:00 ~9:00	○	○	○	○	○	○
休診	水曜午前・土曜午後・日祝					

終了15分前までに受付をお願いいたします。



河内長野市西之山町4-8
TEL (0721) 52-2202



これであなたも 話の達人

～ナニワのアナウンサーのワンポイントレッスン～

元NHKアナウンサー 寺谷 一紀(小 88期)

上手な話し方とは、簡単に言えば、「人に伝わる話し方」です。これは決して、流暢な話し方や、立て板に水のような話し方とイコールではありません。

我々プロの中にも、これを誤解している人がいます。いわゆる昔ながらのアナウンサー教育を受けた人たちです。彼らは、とにかく「トチらない」ように喋るにはどうすれば良いか、そればかりを考えていました。そして、ある独特の話し方を生み出したのです。

これは「調子読み」と呼ばれています。最もやってはいけない話し方であり、悪い見本のようなものと言えるでしょう。さすがに、放送の現場からは姿を消しつつありますが、まだまだ身近な所で、この話し方は幅をきかせています。

例えば、デパートの店内放送です。「毎度ご来店下さいまして、まことにありがとうございます～」他にも、観光バスの車内アナウンスです。「右手をご覧ください。大阪城でございます～」これらは、一定の抑揚で、まるで節をつけたかのように続きます。調子をとって、音楽のように一定のリズムで話すので、調子読みと言うのです。一見、耳に心地よく聞こえます。トチらないので、上手に感じるかも知れません。しかし、この調子読みでは、相手に内容がまるで伝わらないのです。NHKの日本語センターが、興味深い実験をしています。同じ内容の原稿を、調子読みと、自然な読み方で聞かせ比べた所、理解度がまるで違ったというのです。多少トチっていても、自然な話し方で伝えた方が、はるかに相手に伝わったのです。私は、一年ほど前から話し方教室を開いています。初めは多くの生徒さんが、トチらずにスラスラと共通語で喋ることが、上手な話し方だと誤解していました。

しかし3カ月もすると、それが全くの誤りだと判って、グングン上達します。そのコツは、ズバリ「5つの約束」に集約されます。これを守れば良いのです。

1つ目は「自分のことばで話す」ということ。

日本語は、書きことばと話しことばがまるで違います。スピーチを頼まれ、原稿を書く人を多く見受けますが、これは逆効果。書きことばで綴られた原稿を、話しことばで表現することなど、プロにだって出来ません。ましてや、それを覚え

るのは最悪です。メモを活用して、話の流れを把握しながら、自分のことばで話すことが大切です。

2つ目は「わかりやすく話す」ということ。

例えば、放送では「約」ということばを使いません。「約50人」とは言わず、「およそ50人」と言い換えます。誰でも知っている簡単なことばでも、耳で聞くと「約」を「百」と聞き間違えられるかも知れないからです。当たり前のことであっても、相手に理解されているか常に意識する必要があります。

3つ目は「短く話す」ということです。

ほとんどの人が、話をする時に、やたら長々と、ダラダラと話します。「～で、～で」という具合に、接続詞を多用して、話を短く区切ろうとは決してしません。これでは、主語と述語が曖昧になって、耳で聞いているだけでは、相手が何を言おうとしているのか、さっぱりわからないということにもなりかねません。要は、「○○は××です」「△△は□□でした」という具合に、主語と述語を明確に、短い表現を積み重ねれば良いのです。これだけで、説得力は倍増します。

4つ目は「具体的に話す」ということです。

抽象的な、漠然としたことばで表現するのではなく、相手にイメージが伝わるように、エピソードや具体例を活用しながら話してみてください。

5つ目は「構成を考えて話す」ということ。

言いたいことは何か、伝えたい内容は何か、頭の中を整理しなければなりません。まず結論を言う、というのも一つの方法です。落語のように、「つかみ、中身、オチ」という具合に話を組み立てるのも効果的でしょう。

後は、この「5つの約束」を、とにかく実地で訓練し、身につければOKです。

私の教室では、高校生から84歳のお年寄りまで、全くの素人の生徒さんが、3カ月から半年で、みるみる上手くなっていきます。要は、慣れの問題なのです。毎日の会話に「5つの約束」を意識して、あなたも話の達人をめざしてみませんか。

ナニワのアナウンサーの話し方・朗読教室に関心のある方は、いつでもご連絡下さい。

京橋オンリーワン学園 TEL 0120-802501



平成17年新年会報告

新年会実行委員会委員長 西口 重秋(茨高 32期)

本年、平成17年1月29日(土) リーガロイヤルホテル 山楽の間において平成17年山桜会新年会を開催いたしました。

新年会の始まりは、追手門学院大学チアリーダーの皆様によるパ



フォーマンスで盛大に開会する事ができました。新年会イベントとしては、程 一彦氏(中学校4期)とBAD BOYSの皆様による、スタンダードジャズ、聞きなれた懐かしいジャズ音楽を演奏され、また客席まで降りられてのパフォーマンスによりご参加いただきました皆様と、一体感のあるイベントとなりました。当日は、学校法人から学

院長・常務理事・各校長・教頭先生ほか、多数の先生方の参加をいただき、さらに各学校のPTA会長・副会長その他の役員さん方もご参加いただき、オール追手門としての新年会を催すことができました。



今回、山桜会会員の皆様による多大なるご理解とご支援を頂き、多数の知人友人へのお誘いをしていただき、このような盛大な新年会を迎えることができました事を深く感謝いたしてしております。山桜会は追手門学院卒業生の校友会として、追手門学院の発展の一役を果たすことを第一に考え活動を行っております。今後とも、山桜会会員の皆様、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに心より感謝し、紙面に御礼申し上げます。

偕行社58期 中高1期「古稀の集い」

去る3月12日、初めての小、中、高合同での同期会をヒルトン大阪に43名の参加者を得て開催することができました。開戦直前の入学から集団疎開など、戦中、戦後の歴史を共有した仲間が、懐かしい思い出話に華を咲かせ、三時間余りがあったと言う間に過ぎました。お互いの更なる健康を念じ、母校の存続することに感謝する一日になりました。世話人一同



高等学部 サッカー部OB懇親会

平成17年3月27日大坂中央区心斎橋のオ・セイリュウにて第1期生から6期生(65才から71才)までの卒業生の内14名が出席し懇親会を行いました。会の冒頭昨年(平成16年)亡くなられました、鍛冶邦昭君(3期)、真木祐造君(3期)、山上晃男君(5期)、の3名の冥福を祈り黙祷を捧げました。卒業してから50年ぶり、初めての会にもかかわらず、そこはチームワークの良さで、5分も経たぬうちに昔話に花が咲きました。1956年には、大阪代表として近畿大会に出場、同年大阪予選大会にて優勝し、栄えある代表として、第11回兵庫での国民体育大会に出場しました。又翌年には大阪代表として西日本大会にも出場と、華々しかった時代を思い出し、尽きる事なく時間の経つのも忘れ、楽しいひとときを過ごしました。最後に現役の皆さんも頑張ってる是非とも新しい時代を築いて下さらん事を祈り閉会としました。



小学校59期、 中学・高校2期同窓会(二期会)

平成17年2月26日、梅岡、二ノ宮両幹事のお世話でヒルトンホテル10F飛鳥の間に23名が集いました。本会は小学校卒業だけの者、小中、中高、中学だけ等々にかくこの期にどの学校かを卒業していればOKという同窓会です。何ということもなく飲みながら、お互いの元気な顔を見て昔の事や現況をとりとめもなく喋るのが楽しみです。

先ずは黙祷。この年齢になれば、毎年誰かが他界されるのは致し方ないことでしょうか残念なことです。次いで、何はともあれ「乾杯」。あと秋山が山桜会報告を行い、平成20年(2008)追手門学院が120周年を迎えること、又、来る平成18年は山桜会の90周年であり、記念パーティーをはじめ様々なイベントが企画されつつあること、中でも我々の期は太平洋戦争の勃発直後に入学し、疎開、敗戦を経験し、戦後の苦難の時代を耐え忍んで今日の追手門学院に繋がった世代であり、その苦渋の歴史を是非120周年記念誌に掲載してもらうよう学院に働きかけていること、その一助として、去る平成16年7月31日同期生有志と学校志編集委員会との座談会が行われた事等を報告しました。

あとは例によって飲みかつ食べ、思い思いに喋って知らぬ間に時間は過ぎ、記念写真ということになりましたが、考えてみると皆今年は古希、それでは「古希を祝う」と書かれた前に並んで仲良く写真に収まりました。撮影に当たってはプロはだしならぬ本当のプロである美馬君のお世話になりました。名残を惜しみつつ、お互い元気に再会することを願って散会しました。皆さんあとどうしたのでしょうか?昔なら徒党を組んで新地へといったところでしょうか…多分暖かいお家が恋しくてまっすぐ帰られたことでしょうかね。

二期会と同期生の益々の発展、健勝をお祈りして筆を擱きます。
(秋山記)



小84期同窓会

平成16年9月25日(土)、キャッスルホテル・錦城閣にて、4年ぶりに第3回同窓会を行いました。

福井先生、伊勢田先生、北口先生、瀬崎先生をお迎えし、卒業生40名で、今まで最多の出席者数でした。

これといって何も催し物を用意しなかつたのですが、卒業アルバムを持って行ったので、31年前の顔と見比べながら、話も盛り上がり、あっという間の3時間でした。

二次会は南に場所をうつし、一次会に参加できなかった5名が加わり、12時まで楽しい時を過ごし、三次会は同級生の関野(池田)さんのお店へと何人か閉店時刻までお世話になりました。

4年もの準備期間がありながら、不行き届きが多々あった事をお詫び申し上げます。

次回は、2年後か、遅くとも4年後に開催する予定です。よろしくお祈り致します。

幹事 住吉伸典・平本一矢
大浦(東)三恵・福井(新海)輝子



追手門学院 中・高等学部16期同期会

2004年10月23日(土)大阪マルビル大阪第一ホテル午後5時より開催。

オリンピックの年に開催しようと、始めた16期生同期会も今年で5回目を迎えました。早い物で20年が立ちましたが、今回も参加74名ご来賓の先生方4名総勢78名、大いに盛り上がりました。前回とほぼ同じ人数でしたが、初めての参加や10年以上ぶりの方も多くいつもながら少しスリリングな受付、開会は先生学友故人への黙祷に始まり、ホテル別室の二次会、1階のCARATの三次会と6時間以上に及びますが、アツと言う間に感じられる楽しい会でした。こんな会を開催出来るのも追手門ならではの良き友人関係有ってこそと感謝です。4年後は80名を目指してこの会を続けようと再会を約束して会を無事閉じました。

幹事 伊藤友彦





大手前 中高 30期 河合 伸明 佳奈子



高校の修学旅行で訪れた北海道。何時間走り続けても、バスの車窓から見えるのは、一面の牧草地とそこにいる牛や馬達。札幌以外はすべて農地なのだと思い北海道を想像した。将来その地に住む事になるとは、その時夢にも思わなかった…。

ここは、大阪から北へ1200キロ、北海道・大雪山のふもとの町、東川町。北海道第二の都市旭川の隣町で、美しい丘の風景で有名な美瑛や、テレビドラマ「北の国から」の舞台・富良野もお隣さんです。

アウトドアという言葉が一般的ではないころから、自然の中での生活が好きだった私は、田舎暮らしを夢見るようになり、大阪から引越して来てもう12年が経ちます。同窓会で再会して、奈良・北海道のいわゆる遠距離恋愛の末に結婚した、妻・佳奈子も北海道生活6年目です。見るもの、聞く物すべてに驚いていた彼女もすっかりたくましくなり、近頃では少々のもう驚かなくなりました。

現在離農した農家を借りて住んでいます。小さいながらも、手作り家具工房「木風舎」を営んでいます。住居の他に、納屋が2棟、薪小屋が1棟、そして畑が150坪。隣の家まで100メートル以上離れていて、1キロ四方に10戸あるかないか。見渡すと、周りは田や畑ばかりでその向こうに山々が重なって続いています。北海道サイズとでも言いましょうか、距離や広さの感覚は、ケタがひとつ違います。

もちろん自然環境には、大変恵まれています。街灯なんて無いので、夜になると満天の星空。満月の夜には、その明るさにうっとり。外に出ようと、戸をガラッと開けたらすぐそこに、エゾシカの親子がいて、お互いに驚いた事もありました。何年か前には、いつも犬と散歩に行くすぐ裏の林道に、熊が出没したことも…。買い物は往復だけで、車で1時間もかかってしまうので、基本は自給自足。夏の間、畑で採れるトマトはピューレに、キュウリはピクルスに、イチゴやブルーベリーはジャムにして保存し、ニンジンやイモは土の中に埋めておく。すると、収穫の無い冬でもおいしく楽しめるのです。



体のリズムがのんびり田舎仕様になるのでしょうか。生活だけでなく、作る家具にも影響が出てきます。凝ったデザインよりも機能を優先させて、「木風舎」の家具はシンプルで美しく。そして木の風合いを大切に。

結婚を機に、そろそろ自分の家を持ちたいと思うようになりました。その家では「木風舎」の家具を使って、ショールームとしてお客様に見ていただけるようにしようと広い北海道といえども、条件にかなう土地はそう簡単に見つかりません。がっかりしていたら、友人の卯屋さんが、「うちの土地に建てればいいっしょや」と言うのです。さすが北海道サイズです。土地も広ければ、心も広い。

まず工房と材料倉庫を先に建ててから自宅を建てるという、2年計画を立てました。2003年の春、雪解けと共に工事着工。24坪の工房と15坪の材料庫を同時平行で建てました。そして雪が積もる前に、工房だけは引越してきました。明けて2004年、自宅の工事開始。また雪が積もる前に引越し完了といきたかったのですが、残念ながら現在内装工事中。今年の夏頃には引越してできるでしょう。楽しい事も、大変だった事もすべて二人で分け合って、時には友人達に手伝ってもらって、私達の家が出来るのです。喜びももちろん北海道サイズです。何もかも初めての事ばかりだった工房建築の様子は、「木風舎」のホームページ <http://homepage2.nifty.com/mokufusha/> で公開していますので、興味のある方は御覧になって下さい。



自宅工事のかたわら、もうひとつ新しく始めた事があります。ミツバチを飼い始めました。もちろん初めての経験ですが、なんと100キロの蜂蜜が採れました。この会報がみなさんのお手元へ届く六月には、我が家のハチたちはアカシアの蜜を集めてくれているはず。ハチの活躍は、またの機会がありましたら、お話ししたいと思います。



第6回

校外教授とグルメの会

平成16年10月2日、東京山桜会会員17名で、東京都立の特別名勝及び特別史跡の浜離宮恩賜庭園に行きました。この庭園は、海水を引き入れた潮入の池と二つの鴨場を持つ、江戸時代の代表的な大名庭園です。

庭園の入口の近くに6代將軍家宣が、庭園を大改修した時の偉業をたたえて植えられた『三百年の松』が、堂々と緑をたたえ枝をしっかりと張り出し姿を誇っていました。しばらく歩くとオレンジ色のコスモス畑が目を引きつけました。樹木の森林浴をしながら芳梅亭にたどりつき昼食のお弁当を食し、荒川良雄先生の「離宮秘話・潜る橋の由来」を聴講しました。8代將軍吉宗の時には、白い象が飼われていたとのことでした。

もともと徳川將軍家の鷹狩場に1654年(承応3年)に4代將軍家綱の弟松平綱重が海を埋め立てて甲府浜屋敷と呼ばれる別邸を建て、その後綱重の子、綱豊(家宣)が6代將軍になったのを契機にこの屋敷は將軍家のもとなり「浜御殿」と改められ歴代將軍により造園と改修工事が行われ11代將軍家斉の時代に現在の姿の庭園が完成し、明治維新後は、皇室の離宮となり名称を「浜離宮」と変えました。昭和20年東京都に、下賜され昭和27年に国の特別名勝及び特別史跡に指定されたそうです。

私達は、中島の御茶屋をめざし潮入の池を見たり(海水が入ってくるのでコイはいませんでした。ボラ、セイゴ、ハゼ、ウナギでした。)お亭山(おちんやま)をながめながら歩きました。お亭山は、庭園や池の全体を見はらせるようになっていました。おていとよばないでおちんと呼ぶそうです。お茶などをする時に、教養がわかるそうです。私は、発音で笑ってしまいました。中島の御茶屋でまんじゅうとお茶を食し、明治天皇と南北戦争で活躍したグラント將軍の絵画をそばで見ながら潮入の池や緑を楽しみました。

そこから將軍お上りの場を横に見ながら水上発着場へ行き、隅田川

の13の橋を水上バスで浅草まで行きました。お天気に恵まれ勝鬃橋、佃大橋、中央大橋、永代橋(赤穂浪士が通った橋)、隅田川大橋、清洲橋、新大橋、両国橋、JR総武線の橋、蔵前橋、厩橋、駒形橋、吾妻橋の13の橋を下から見上げる感じで色や橋のデザインのおもしろさや川からの流れと風で癒されほっと一息しました。森林浴と川の流れの癒しで、リフレッシュしました。



ちょうどイチローが新記録をうちたてた時でした。朗報に歓声を上げ皆様の表情もうれしく明るくなっていました。昔はイタリアのゴンドラのように舟をたくみに利用して運河のように海から川へ枝葉のようにわかれて道をつくっていったのがよくわかりました。浅草散策を20分で浅草寺へお参りし、バスで根岸本店の下町情緒ある洋食屋「レストラン香味屋」にてフランス料理を楽しみおいしいワインを飲みながら舌鼓をうちながら話を花を咲かせました。一行は、何か得した気分です。とてもおいしかったです。

(大中高19期 佐伯文字 記)

第7回 校外教授のお知らせ

東京山桜会 事務局 萩原正民
FAX 044-877-2138

日時:17年10月22日(土)12:00~

場所:学習先 横山大観美術館(上野池の端 旧岩崎邸庭)
会 食 鷗外荘水月館

開催ゴルフ場:三田カントリー27

第6回 山桜会チャリティー ゴルフコンペ開催のご案内

山桜会のみなさまこんにちは。

山桜会・ゴルフ部会は毎年ゴルフというスポーツを通してオール追手門の仲間達と世代を越えた交流を目的に行なってきました。

今回は第6回 山桜会チャリティー・ゴルフコンペのご案内を致します。これまで開催収益金を各種NGO団体に寄付をさせて頂きましたが、今回も同様の趣旨で開催させていただきます。

なお、今回も山桜会のみなさまはもちろん、学院法人・各校の先生方やPTAの方々にもご参加をいただく予定です。お一人での参加も大歓迎、また各学年の同窓会コンペと併せたダブルコンペとしてもご利用ください。

皆様方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

文化活動委員会副委員長 ゴルフ部会 巽 英一(大中高18期)

- 開催日時** 平成17年9月18日(日)8:30スタート
(24組エントリー済みスタート時間は変更になる場合もあります。)
- 集合時間** 8時00分より各スタート時間の30分前(時間厳守)
- 開催場所** 三田カントリー27 兵庫県三田市上本庄1215
TEL 079-568-3311
参加者には後日、集合時間・組合せ表・地図等を郵送いたします。
- 参加費** ¥8,000円程度(チャリティー代含む、尚プレーフィは、各自でご清算下さい)
- 競技方法** 18ホールストロークプレー、山桜会ベリア方式・他ローカルルールに準ずる。
個人戦(入賞当日発表します。)
女性枠入賞の特典も多数用意しております。
- 申込方法** 追手門学院 校友会・山桜会事務局まで
(7月末日締め切り、ただし定員になり次第締め切らせていただきます。)
TEL 06-6940-3481 FAX06-6940-3482
ご希望の組合せがあれば、お申し出ください。
山桜会・ホームページにもチャリティーコンペの案内を掲載致しております。
<http://www.yamazakurakai.com/>
- 備 考** 今回プレー費がゲスト特別料金17,850円(消費税込み)でプレーができます。

《ゴルフコンペ賞品の協賛品・協賛金のお願い》

今回もゴルフコンペ参加者をはじめ、山桜会のみなさま方より協賛品・協賛金のお願いをさせていただきます。ゴルフをなされない方もどうか本会の趣旨にご賛同賜り「チャリティーゴルフコンペ」に協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご寄贈いただきました協賛品・協賛金につきましては懇親会の席上で報告させていただきます。なお、協賛品・協賛金の受付につきましても山桜会事務局までよろしくお願い申し上げます。

第1回

山桜古典写真機同好会 開催報告

香山 恭慶 (小83期・大中高26期)

平成17年3月12日(土)小学校会議室をお借りして、第1回の会合をもちました。戸外は3月として珍しい雪交じりの寒風吹く悪天候でしたが、勝手気ままにカメラ自慢に歓談を重ねました。出席者のこだわりの逸品をご披露申し上げます。大手前中高教諭の横井貞弘先生(大中高14期)が持参された蛇腹カメラはなんと小西六のパールⅣ型でした。このカメラは、1958年、世間の嗜好が一眼レフに移行する端境期に誕生したスプリングカメラです。セミ判スプリングカメラとしては当時どのカメラよりも優れていましたが高級35mmカメラの台頭で需要が伸びずすぐに姿を消した薄幸の銘機です。数も少なく今となっては稀少なカメラといえます。またこれは、阪口親平先生から譲り受けたものであると聞いてさらに驚きました。そして中高の生徒が虫眼鏡を利用して作成した手作りカメラとそれで撮影した写真をご披露いただき、カメラの原点であるカメラオプスキュラの原理を実践で生徒に説いていただいた功績は極めて大きいものと考えます。

当会発起人代表の秋山陽彦さん(小59期、中2期)は、ライカコレクターとしても有名で数多くのカメラを所有されています。本日は、初回ということで、1932年製ライカⅡ型のⅢ型改造モデルを持参されました。この機体は、色ハゲ、手ズレなど全くなく状態は極めて良く、70年前に家一軒と同等の値段がついていたと言わしめた黒塗りライカの出荷時の姿を伝える貴重なものでした。また会合の様子をコダック・レチナⅢCでスナップされていました。



また小林太郎さん(小75期、大高18期)は、大きな体躯にあわせて、二眼レフの王者ローライフレックス2.8Fとプロ御用達のハッセルブラッド500CMを持参されました。

ともにツァイスのブレンダーズ付の美しい逸品で、大企業の社長らしく風格のあるカメラでした。前秋、当会発起人三名がハッセルブラッドをそれぞれ首からぶら下げて浴中に遊んだことが楽しく思い出されました。



若手の櫻野起秀さん(茨中14期、茨高36期)は、一眼レフは、ミノルタを除く各社のカメラを所有されているようで、今回は、ニコンF3チタン、オリンパスOM-3チタン、ペンタックスLXミレニアムエディションの三台を持参されました。ともにf1.2の高速レンズを装着して、堂々たるラインナップをご披露いただきました。一眼レフについては、並々ならない意気込みと愛情を感じました。

私は、撮影するよりいじっていてこれほど楽しいカメラはないと常々思っているコンタックスI型(1935年製)を持参しました。これは、現在京セラが扱っているコンタックスのご先祖様というべきものです。戦前、ドイツの最大光学メーカーであるツァイスイコンが新興勢力のライツにその力の差を見せ付けたといわれるカメラで、いまでも愛好者が多いことで知られています。

なんだかカメラの説明のようになってしまいましたが、事務局の西田さんにもお付き合いただきまして、楽しい一時を得ましたことをご報告させていただきます。

次回開催時も今回同様ホームページ等でご案内差し上げますので、皆様お気軽にご参加ください。また、末尾になりましたが、本会合のご案内を大先輩に差し上げたところ、次のような丁寧なご返事を頂戴いたしました。

05.3.11

山桜会 秋山陽彦 様

京極 与寿郎

古典写真機同好会の発足おめでとうございます。私は、出席できませんが、一筆します。

借行社小学校を卒業して、生野中学に進んだ頃、買って貰ったのが、当時の「バス単」「パーレット」でした。常焦点、単玉、露出は晴・曇・雨程度の目安で、写っていれば、儲けものといった程度でした。フィルム枠を調整したり相当使いこなした思い出があります。

その後、「ベビーパール」「セミコンタ」「コダック・レチナ」などから二眼レフ全盛時の「ローライフレックス」。今はすべて手許には残っていません。

その後、オリンパスの設計思想に惚れ込んで、「オリンパスペン」「オリンパスペンF」「オリンパスOM1」まで。

電池がなくても撮影できるもの—というコンセプトはなかなか良いと思います。ただOM1は露出計に水銀電池を使うのが製造禁止になりもう使えない状態です。

大口径レンズをつけて、ファインダーでピタリとピントを合わせたときの快感は忘れられません。今は、重いカメラは駄目で、コンパクトデジカメだけ。手軽な代わり、物足りないがやむを得ません。以上取急ぎ、感想まで。

注:京極与寿郎さん(尋常小44期)は山桜会評議員

山桜古典写真機同好会

発起人代表 秋山陽彦 様

2005年2月26日

拝復 貴会ご案内を戴きまして有り難うございました。

小生クラシックカメラにとっぷりつかっている人間ですので、貴会ご発足にお祝い申し上げます。小生はもう関西に帰ることは御座いませんのでそちらでの会合に参加させて頂くわけには参りませんが、参考資料などを同封させていただきます。ところで私は昭和20年敗戦の年の卒業、56期生ですが、兄二人も同窓です。

(中略)

私の二人の兄は山水中学(最初は借行社中学で発足しましたが、すぐ山水中学に変更)に進みましたが、私は四条畷に進学後大阪の高津に転じました。兄二人は大学の先生で70過ぎまで現役でしたが今は引退しております。

私は商社から機械メーカーに転じ63歳で常務引退後カメラの本を書き始め現在でもカメラレビュー、クラシックカメラ専科で書いております。全日本クラシックカメラ(AJCC)に入会十年、最近35年の歴史のある「日本手作りカメラの会」の会長をやっております。海外のクラブの会員でもあり、寄稿も致しております。

現在AJCCではクラシックカメラによる写真展を銀座の画廊で開催約50点の出品があります。これは毎年銀座松屋で行われる「中古カメラ市」に時期を合わせて行っております。秋にも写真展を開いております。昨夜完成しました「日本手づくりカメラの会」の会報も参考までに同封致します。当会会員は、勿論関東圏ですが、名古屋、新潟、秋田、北海道にも会員が散在します。貴会今後のご盛會を祈願しまして筆を措かせて頂きます。

敬具

馬淵 勇

注:馬淵 勇さん(借行社学院56期)はクラシックカメラに造詣が深く、コレクションカメラは500台。また文面以外にも「クラシックカメラ便利帖」「クラシックカメラ埋もれた銘機たち」など著作多数。

教育支援委員会

活動報告

教育支援委員会 副委員長 小学校担当
岡本 敬子(小75期)



教育支援委員会は、母校、生徒、児童に対しての教育支援を念頭に活動し、各校に対してのチューター活動も働きかけています。その一環として、去る1月26日(水)、小学校クラブ活動の一つである調理クラブにおきまして、料理研究家程一彦先生(山桜会理事・大手前中4期)の調理実習指導を開催いたしました。

「こんにちは」と元気よく教室に入ってくる子供達一人ずつに声をかけられ、いよいよスタートです。用意して下さったレシピの説明が始まり、ユーモアあふれる御指導のもと、和やかに、そして真剣に、調理クラブの4年生約40名が鉄人チャーハンを作りました。身体の仕組み、野菜の栄養分析も織り混ぜた説明には、浸透圧や凝固などの言葉もポンポン飛び出し「調理は科学!」と子供達はどんどん引き込まれていきます。何故そうなのか、と明瞭に解説され、包丁やおはしの使い方、配膳、マナーに至るまで御指導頂き、味付け最後の微調整は、程先生が各テーブルを回って下さり、御参観頂いたお母様方も御一緒

に楽しく試食を終え、あっという間に2時間が経ちお開きとなりました。

後日、程先生はこの日のことを、新聞と雑誌に掲載され、子供の食育の重要性を説かれております。食育とは親が子に伝える食文化「躰」のこと、家庭での食事の大切さを強調されておられます。正しく教えると、子供は素直にのびのびと成長してくれると確信されたそうです。

生徒さん達に喜んで頂ける催しをと、今回の調理実習が実現しましたが、貴重なクラブの時間を御提供下さいました小学校、そして何より、お忙しい中、快くお引き受け下さいました程先生に、感謝の気持ちでいっぱいです。最後に程先生の締めくくりの言葉で、報告を終わらせて頂きます。

「こうして直接指導したんやから、君らは程さんの直弟子です。今日教わったことよう覚えといてよ。おいしいもん作ろと思たら縦にしわ寄せたらアカン、愉しそうな幸せそうな顔して作りましょ。そしたらおいしいもんできるから。」

女性部会報告

第2回催し「着物を着て日本庭園を散策しよう!」は10月28日(木)11時から太閤園「淀川邸」で行われました。

当日は正に着物に打ってつけの秋晴れになり、32名が参加いたしました。まずは「淀川邸」のお座敷をお借りして、着付けの講習会。釣谷嘉津先生(山桜会員の保護者)に着物を着る楽しさや簡単に着る秘訣などを教えていただいた後、着付けの実習に移りました。はじめて自分で着物を着る人もいましたが、皆様上手に着付けを済ませ、あでやかな着物姿で和やかに会席料理を楽しみました。

食後は天候に恵まれ緑の美しい日本庭園をみんなで散策。さすが追手門にゆかりのある方ばかりの集まりで品がよく、日本庭園とピッタリ合っているように思いました。その日は皆様、普段とは違う優雅な気分が秋の一日を満喫されました。



文化活動委員会 副委員長 女性部会
鷲見 文子(小75期・大中高18期)

第3回催しは、2月19日(土)3時から小学校のAVホールで講演会を開催いたしました。講師は荻野レディースクリニック院長の荻野瑠美先生(小73期・中高16期)で、「更年期を乗り越えて若返ろう!~アンチエイジングの薦め~」と題して講演していただきました。

参加者は58名。更年期とアンチエイジングをテーマにした講演会です。40代・50代の女性を中心でしたが、川原会長をはじめ8名の男性会員の皆様にもご参加いただきました。

更年期以降にみられる症状やその為の治療、対策などについて、女性の知りたい情報を分かりやすく終始軽快な口調で講演していただき、身体と心の若さをいつまでも保つアンチエイジングの為のお話では、お化粧品やプチ整形にいたるまで、とても興味深いお話も聞くことができました。

そして、平均寿命と健康寿命の違いについてもお話され、健康に生きることの大切さや健康管理のために必要なことなどを教えていただき、普段の生活や食事がいかに重要かということを改めて気付かせていただきました。

講演会后、ドーンセンター内レストラン「ゆいまーる」で先生を囲んでお食事会を行い、33名の皆様にご参加いただきました。各テーブルを回りながら個々にアドバイスや思い出話をされる先生に気さくで温かいお人柄を感じました。

更年期を乗り越えていつまでも若々しく充実した人生を送るうえで、とても有意義な講演会だったと思います。

平成17年度も山桜会の輪を広げていくような楽しい企画を考えていきたいと思っております。その折には是非、皆様ご参加ください。



平成17年度 第1回催し 色彩とフラワー、本格イタリア料理を楽しもう!

日時 平成17年7月7日(木) 11時30分~15時
場所 カプリッチョ・ダ・アモーレ OAP 1F(帝国ホテル隣)
会費 5,000円

カラーカウンセラーのただみよこ先生に元気になる色彩のお話をしていただいた後、今流行のプリザーブドフラワー(水のいらぬ生花)を生けて、帰っていただきます。

昼食は「カプリッチョ・ダ・アモーレ」の本格イタリアンです。

詳しくは山桜会ホームページをご覧ください。

山桜会総会・演奏会・懇親会

ご案内

日時 ▶ 平成17年6月26日(日)

会場 ▶ 追手門学院小学校

大阪市中央区大手前1-3-20 TEL06-6942-2231

総会	午前10時より ▶ AVホールにて	
演奏会	午前11時より ▶ 記念ホールにて	今年のイベントは大阪ハイドンアンサンブルによるクラシック音楽の演奏会です。
懇親会	正午より ▶ 記念ホールにて 懇親会費 6,000円(大学生3,000円、高校生以下無料) ▶会費は当日受付にていただきます。	懇親パーティの中で追手門学院大学生によるチャリーディングもあります。

※会報に出欠はがきを同封しておりますので返送お願い致します。

演奏会

追手門学院小学校の杉田圭一教諭が指揮される大阪ハイドンアンサンブルによるクラシック音楽の演奏会です。クラシック音楽に普段接することの少ない方にも、興味を持っていただき、親しんでいただけるような楽しい内容で、「クラシック入門編」と言えるような内容にしております。

プログラム

ハイドン作曲 交響曲103番「太鼓連打」より第1楽章
モーツァルト作曲 セレナード第13番「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章
モーツァルト作曲 交響曲第41番「ジュピター」より第4楽章
楽器紹介、1分間指揮者コーナー 他

指揮者 杉田圭一氏

プロフィール

13歳でホルンを始める。中・高・大学の吹奏楽部で指揮活動を行う。北海道女満別町で行われた「オホーツク音楽セミナー」に合計8回参加。小林研一郎氏、松岡究氏の指揮法指導を受ける。

1993年より金洪才氏に継続的に師事し、2001年びわこジュニアフィルのアシスタントを務める。

大阪ハイドンアンサンブルには、3回目の練習より参加し、この楽団のこれまでのすべての演奏会の指揮をする。茨木市吹奏楽団常任指揮者、城南ウインドアンサンブル指揮者、大阪市民管弦楽団団内指揮者を歴任。

この楽団には指揮者の杉田圭一教諭、追手門学院幼稚園吉田茂園長、山桜会員(小学校104期～青木 英記・田中 沙依・別所 恵 106期～松山奈央)が参加しております。

懇親会

追手門学院大学チャリーディングクラブ SOLDIERS(ソルジャーズ)

プロフィール

追手門学院大学 学友会体育会に所属部員数:20名
年4回の大会(関西地区2回・全国2回)に出場し、出場100チームの中で20位以内の成績。



総会参加後は、クラシック音楽に触れ、そしてチャリーディングに楽しみ、そして懇親パーティにて同窓生との交流を深める楽しい1日に、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

■会報74号の訂正とお詫び

P.8 正しくは「萩野レディースクリニック院長」ですが、「萩野レディースクリニック院長」と誤って掲載されております。

正しくは「萩野瑠美先生」ですが、誤って「萩野瑠美先生」と掲載されております。

P.11 正しくは「2008年に創立120周年を学院が迎える」ですが、誤って「8年後に創立120周年を学院が迎える」になっております。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。